

幼児の運動遊びと親の養育態度

○ 綿田 育代 田中 鎮雄
(日本大学) (日本大学)

枇沢 聖子 武田 正司
(日本大学) (日本大学)

運動遊び、社会化過程、養育態度、「期待」と「現実」

I. 目的

田中は¹⁾、日本人特有の女性らしき志向の社会的風土が、女性のスポーツ参加に対する抑制要因として働いていることを示唆している。また、枇沢らは²⁾、高校生を対象として、勉学志向とスポーツ・レクリエーション志向との関係を追究し、性差に注目しながらも全般的には勉学時間の増大に伴ってテレビ視聴時間を減少させ、未組織的スポーツ活動や趣味活動を楽しむなど、限定された状況下でもレクリエーション志向性を失わない傾向のあることを示唆して

表 1

項目	男		女	
	人数	割合	人数	割合
6歳	8	12.1	8	16.3
5歳	32	48.5	25	51.0
4歳	26	39.4	16	32.7
合計	66	100.0	49	100.0

いる。

上記の研究をふまえながら、対象を就学前の幼児にしぼり、その親(母親)に回答を求める形で、男女別に幼児の運動遊びをはじめとする社会化過程を親がどのように認知し、どのような養育態度をとっているかを比較検討しようとしたのが本研究の目的である。

II. 方法

1. 調査対象：東京都内のN幼稚園児の母親。園児及びその母親の年齢構成は表1及び表2に示すとおりである。
2. 調査方法：質問紙法
3. 調査時期：昭和61年7月
4. 有効回収数：115(男児66、女児49)
有効回収率：70.6%
5. 質問紙の構成：

質問紙は、幼児の現状に対する母親の認知に関する項目、幼児の発達に対する母親の期待水準に関する項目及び基礎項目から構成されている。

幼児の現状に対する母親の認知に関する項目(項目1~25)と、幼児の発達に対する母親の期待水準に関する項目(項目26~50)は、例えば、「(最近のお子さんは)戸外で遊ぶことが大好きです」(項目6)と「(お子さんが小学校入学の頃には)戸外で遊ぶことが大好きな子であってほしい」(項目31)のように、その質問内容が対応

するようにつくられている。また、これら50項目はさらに次のようにカテゴライズされる。すなわち、項目1~5・項目26~30は、「勉強」に関するカテゴリー、項目6~10・項目31~35は、「運動遊び」に関するカテゴリー、項目11~15・項目36~40は、「情操教育」に関するカテゴリー、項目16~25・項目41~50は、「しつけ」に関するカテゴリーである(表3参照)。

なお、これら50項目それぞれに対する回答はリッカート法により、「全くその通り」(5)、「それに近い」(4)、

表 2

項目	男		女	
	人数	割合	人数	割合
20歳代	7	10.6	5	10.2
30歳代	55	83.3	38	77.6
40歳代	4	6.1	6	12.2
合計	66	100.0	49	100.0

「どちらともいえない」(3)、「その反対に近い」(2)、「その反対」(1)の5件法がとられている(ただし、項目5及び項目10は、「全くその通り」(5)または「その反対」(1)のいずれかに回答するようになっている)。

基礎項目は、幼児の「年齢」・「入園年数」・「進学予定」・「健康状態」、母親の「年齢」・「最終学歴」・「運動部経験の有無」・「スポーツ参加状況」・「スポーツクラブへの所属状況」・「おけいこごとの経験の有無」・「塾通いの経験の有無」から成り立っている。

6. データ処理：

日本大学文理学部コンピューターセンターIBM4331 LO2(SPSS)で行った。

III. 結果と考察

表3は、幼児の現状に対する母親の認知(現実)及び幼児の発達に対する母親の期待水準(期待)の50項目について、男女差(表3の太線枠内)と、対応する項目間の差を示したものである。

1. 幼児の現状に対する母親の認知

表3の項目1から25に注目してみると、勉強の項目(1~5)では、項目1、2、3、4にみるように、男女児、いずれも絵本を見たり、絵を書いたり、物を作ったり、本を読んでもらうことにかかなり強い興味を示しており、数字や文字を自主的に学習する意欲も高い傾向にある。このような中で、項目5及び

表3 幼児の運動遊びと親の養育態度

項目	内容	男児(項目間の比較)			女児(項目間の比較)			t検定 (男女児間の比較)
		M	SD	t検定	M	SD	t検定	
勉	1 26	絵本を見るのが大好きです 新しい絵本をすすんで読む子であってほしい	4.273 4.561	0.795 0.558	**	4.327 4.592	0.801 0.674	*
	2 27	絵を書いたり物を作ったりするのが大好きです 絵を書いたり物を作ったりするのが好きな子であってほしい	4.227 4.561	1.005 0.682	*	4.469 4.633	0.819 0.602	
	3 28	数字や文字を自分から覚えようとしています 数字や文字を自分から覚えようとする子であってほしい	3.909 4.667	1.160 0.591	***	4.265 4.694	0.861 0.619	***
強	4 29	本を読んでもらうことが大好きです 物語りを聞くことが好きな子であってほしい	4.500 4.500	0.789 0.789		4.612 4.653	0.731 0.631	
	5 30	進学準備のために塾に通っています 進学準備のためにすすんで塾に通う子であってほしい	1.606 2.682	1.445 1.098	***	1.408 2.429	1.223 1.080	***
運	6 31	戸外で遊ぶことが大好きです 戸外で遊ぶことが好きな子であってほしい	4.500 4.803	0.749 0.437	**	4.490 4.776	0.767 0.468	**
	7 32	友だちと活発な遊びをすることが大好きです 友だちと活発な遊びをすることが好きな子であってほしい	4.379 4.652	0.799 0.595	**	4.367 4.653	0.755 0.631	**
	8 33	新しい運動やスポーツに強い興味を示します 新しい運動やスポーツに興味の持てる子であってほしい	3.682 4.546	0.963 0.661	***	3.918 4.408	1.017 0.788	**
遊	9 34	親子で一緒に運動やスポーツを行っています 親子の運動遊びをリードできる子であってほしい	2.803 4.227	1.070 0.780	***	2.306 3.918	1.084 0.862	***
	10 35	スポーツ教室やスポーツクラブに通っています スポーツ教室やスポーツクラブにすすんで通う子であってほしい	2.879 3.682	2.012 1.166	***	2.061 3.306	1.784 1.045	***
情	11 36	家族や友だちにやさしい心づかいができます 家族や友だちにやさしい心づかいができる子であってほしい	4.197 4.909	0.706 0.290	***	4.449 4.898	0.614 0.306	***
	12 37	親子一緒にいつも楽しく遊んでいます 親子一緒にいつも楽しく遊べる子であってほしい	3.712 4.409	0.837 0.894	***	3.449 4.143	0.709 0.866	***
	13 38	小鳥や犬・猫などをよくかわいがります 小鳥や犬・猫などをよくかわいがる子であってほしい	3.591 4.364	0.960 0.777	***	3.694 4.510	1.194 0.711	***
操	14 39	木々の緑や草花が大好きです 木々の緑や草花が好きな子であってほしい	3.530 4.470	0.881 0.706	***	4.184 4.714	0.905 0.577	***
	15 40	音楽を聞いたり歌ったりするのが大好きです 音楽を聞いたり歌ったりするのが好きな子であってほしい	3.864 4.303	1.036 0.803	***	4.551 4.633	0.792 0.698	***
し	16 41	「男の子らしい遊び」「女の子らしい遊び」をしています 「男の子らしい遊び」「女の子らしい遊び」をする子であってほしい	4.242 4.515	0.878 0.707	**	4.163 3.510	0.850 0.938	***
	17 42	あいさつや返事がしっかりできます あいさつや返事がしっかりできる子であってほしい	3.818 4.939	0.875 0.240	***	3.980 4.939	0.854 0.242	***
	18 43	整理整頓がかなりできます 整理整頓がしっかりできる子であってほしい	3.121 4.697	0.985 0.581	***	3.245 4.796	1.090 0.456	***
つ	19 44	ひとりで身じたくをしようとしています ひとりで身じたくができる子であってほしい	3.909 4.864	0.988 0.346	***	4.245 4.939	0.925 0.242	***
	20 45	お手伝いをすすんでします お手伝いをすすんでする子であってほしい	3.424 4.258	1.024 0.730	***	3.959 4.674	0.957 0.516	**
け	21 46	食べ物に好き嫌いが多い方です 食べ物に好き嫌いが少ない子であってほしい	3.197 4.818	1.427 0.605	***	3.389 4.816	1.412 0.441	***
	22 47	缶ジュースなどを自由勝手に飲んでいます 缶ジュースなどを自由勝手に飲まない子であってほしい	4.500 4.455	0.864 0.748		4.714 4.633	0.677 0.782	
	23 48	テレビの番組は勝手に見ます テレビの番組は決めて見る子であってほしい	3.546 4.500	1.243 0.707	***	3.776 4.571	1.066 0.645	***
	24 49	ファミコンやゲームウォッチに熱中しています ファミコンやゲームウォッチに熱中しない子であってほしい	3.106 4.409	1.469 0.803	***	4.184 4.367	1.149 0.994	***
	25 50	家族と一緒に夜おそくまで起きています 夜ふかしをしない子であってほしい	3.955 4.606	1.329 0.677	**	4.143 4.755	1.000 0.480	***

注) 項目21、22、23、24、25は「全くその通り」(1)、「それに近い」(2)、「どちらともいえない」(3)、

「その反対に近い」(4)、「その反対」(5)

表4にみるように、幼児期から進学準備のために塾に通う子どもが全体の13%にも及ぶ事実注目しなければならない。

運動遊びの項目(6~10)では、項目6、7、8にみるように、戸外遊びや友だちとの活発な遊びを好む傾向にあり、新しい運動やスポーツに興味を示すなど、男児、女児にかかわらず、この時期の活動性の高さが示唆される。このような傾向を示す中で、親子での運動・スポーツへの参加(表5)は、女児より男児の方が積極的であることがわかる。

情操教育の項目(11~15)では、男女児共通に高い平均値が認められるのであるが、とくに女児では男児より、草花や音楽を好む傾向が強く、やさしい心づかいもできるようになることが明らかである。

しつけの項目(16~25)では、男女児いずれもあいさつや返事、ひとりでの身じたくがしっかりできるようになるとともに、整理整頓も次第にできるようになってきていることが理解できる。また、お手伝いにも積極的な態度をもつようになるが、とくに、女児にこの傾向が強く認められる。一方、項目16にみるように、この時期には、男児は「男の子らしい遊び」を女児は「女の子らしい遊び」を志向するなど、遊びの傾向に性差がはっきりしてくることが示唆される。項目21~25は、しつけの状況を裏側からみたものである。缶ジュースなどの飲用やテレビ視聴、夜ふかしなどに対する放任状況はとくに認められないが、食物の好き嫌いには、かなりの個人差がみられる(表6参照)。また、ファミコンやゲームウォッチなどの近年とみに流行してきた遊びは、男児に有意に多くみられ、室内遊び傾向の強化を示唆するものとして注目される。

以上のように、男児、女児それぞれにみられる社会化過程と運動・スポーツ行動の現実を、母親の認知からみた場合、次のような点が指摘できる。すなわち、(1)男児は、女児よりも、スポーツ教室等の組織的スポーツ活動への参加に積極的で、親子での運動遊びにも活発な傾向がみられる。(2)一方、女児は男児よりも、やさしさをもち、草花や音楽を好み、手伝いにも積極的であるなど、女性的な役割を取得していく傾向がみられる。(3)このことは、社会化過程での重要な他者としての母親からみた結果であるため、この性差のもつ意味は、一層その重みを増してくるのである。

2 幼児の社会化過程に対する母親の現実認知と期待感

表3の左欄は、幼児の現実と期待についての母親の意識の相違を男女児別にみたものである。表3を一見して明らかのように、男児、女児のいずれにおいても、期待に関する項目のほとんどの平均値が現実のそれより有意に高いことが理解できる。

ここでとくに、表3の項目30と表7に注目してみると、進学塾志向は、男女児の親に共通して「どちらともいえない(3)」か「その反対(1)」のいずれかに回答する傾向がみられる。この一見あいまいな反応傾向は、短大ないし大学への進学予定が男児で95.5%、女児で89.8%にものぼる(表8)点を考え合わせると、小学校就学以前からの受験競争の激しさを示唆するものとして注目される。

このように勉学志向の強さが推測される中で、運動遊びに目をむけてみると、項目35と表9から、スポーツ教室やスポーツクラブへの参加希望は、女児よりも男児の母親に強いことが明らかに認められる。

これに対して、項目39、40、41、45から明らかとなり、自然を愛し、音楽を好み、積極的にお手伝いすることなどは、男児よりも女児の方に強く期待されており、ここでも女児に女の子らしさを期待する傾向の強さを垣間みることができる。

しかし、「(男の子らしい遊び)、(女の子らしい遊び)をする子であってほしい」に対する回答傾向をみると、男児の平均値が女児よりも有意に高いことがわかる。これを表10からみると、男児の母親はこの質問項目に肯定的に反応しているのに対して、女児の母親は、「全くその通り(5)」(24.5%)か「どちらともいえない(3)」(61.2%)のいずれかに回答するものが多い。このような母親の回答傾向の解明については、改めて精密な調査分析を試みる必要があると思われる。

IV. まとめ

東京都内のN幼稚園児の母親115名を対象に、質問紙調査を実施し、分析・考察を加えた結果、次のような知見を得た。

(1) 子どもの現状を母親の認知からみると、男児には運動遊びの活発さが、女児には情操面の発達が注目される。

(2) 小学校入学の頃までの子どもの発達に対する母親の期待水準は著しく高まりながら、期待内容は、(1)とはほぼ同じ傾向を示している。

(3) 小学校入学以前では、進学準備に対する母親の意識は、まだ、混沌としている。

(4) 小学校入学の時点で、男児には男の子らしい遊びをするように期待される一方、女児には女の子らしい遊びを期待されなくなる傾向は、今後、解明すべき興味ある問題であると思われる。

V. 文 献

- 1) 田中鎮雄：「わが国における社会的風土と女性のスポーツ行動」、研究紀要第30号、日本大学人文科学研究所、1985、pp. 263 - 278.
- 2) 梶沢聖子、田中鎮雄、山岸明郎、武田正司：「勉学志向とスポーツ・レクリエーション行動」、レクリエーション研究第14号、日本レクリエーション学会、1985、pp. 68 - 73.

表 4

進学準備のために塾に通っています

項 目	男	女
全くその通り	10 15.2	5 10.2
そ の 反 対	56 84.8	44 89.8
合 計	66 100.0	49 100.0

表 5

親子で一緒に運動やスポーツを行っています

項 目	男	女
全くその通り	4 6.1	2 4.1
それに近い	10 15.2	4 8.2
どちらともいえない	31 46.8	14 28.6
その反対に近い	11 16.7	16 32.6
そ の 反 対	10 15.2	13 26.5
合 計	66 100.0	49 100.0

表 6

食物に好き嫌が多い方です

項 目	男	女
全くその通り	17 25.7	14 28.5
それに近い	12 18.2	12 24.5
どちらともいえない	15 22.7	9 18.4
その反対に近い	11 16.7	7 14.3
そ の 反 対	11 16.7	7 14.3
合 計	66 100.0	49 100.0

表 7

進学準備のためにすすんで塾に通う子であってほしい

項 目	男	女
全くその通り	4 6.1	1 2.0
それに近い	5 7.6	4 8.2
どちらともいえない	38 57.5	25 51.0
その反対に近い	4 6.1	4 8.2
そ の 反 対	15 22.7	15 30.6
合 計	66 100.0	49 100.0

表 8

子どもの進学予定

項 目	男	女
中学校まで	0 0.0	0 0.0
高校まで	0 0.0	4 8.2
各種専修学校まで	3 4.5	1 2.0
短大まで	0 0.0	5 10.2
大学まで	63 95.5	39 79.6
合 計	66 100.0	49 100.0

表 9

スポーツ教室やスポーツクラブにすすんで通う子であってほしい

項 目	男	女
全くその通り	21 31.8	9 18.4
それに近い	14 21.2	6 12.2
どちらともいえない	25 37.9	28 57.2
その反対に近い	1 1.5	3 6.1
そ の 反 対	5 7.6	3 6.1
合 計	66 100.0	49 100.0

表 10

「男の子らしい遊び」をする子であってほしい
「女の子らしい遊び」をする子であってほしい

項 目	男	女
全くその通り	42 63.7	12 24.5
それに近い	16 24.2	4 8.2
どちらともいえない	8 12.1	30 61.2
その反対に近い	0 0.0	3 6.1
そ の 反 対	0 0.0	0 0.0
合 計	66 100.0	49 100.0

df = 1. p < 0.05